

## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月13日

上場会社名 株式会社yutori 上場取引所 東  
コード番号 5892 URL https://yutori.tokyo/  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 片石 貴展  
問合せ先責任者（役職名） 取締役副社長（氏名） 瀬之口 和磨（TEL）03-6379-0667  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年3月期第3四半期の業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,111	—	390	—	302	—	290	—	165	—
2023年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益							
	円	銭	円	銭						
2024年3月期第3四半期	111.58	—	108.30	—						
2023年3月期第3四半期	—	—	—	—						

（注）1. 当社は2023年3月期第3四半期については財務諸表を作成していないため、2023年3月期第3四半期の数値及び2024年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 調整後EBITDA =（営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 + 株式報酬費用 + 敷金償却費）

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第3四半期	百万円 1,868	百万円 611	% 31.7
2023年3月期	1,341	230	17.2

（参考）自己資本 2024年3月期第3四半期 592百万円 2023年3月期 230百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注）2024年3月期第3四半期末配当金の内訳 記念配当 0円00銭 特別配当 0円00銭

## 3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,102	66.1	498	—	374	—	360	—	215	—	143.15

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期3Q	1,565,700株	2023年3月期	14,807株
------------	------------	----------	---------

② 期末自己株式数

2024年3月期3Q	—株	2023年3月期	—株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期3Q	1,565,700株	2023年3月期3Q	—株
------------	------------	------------	----

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来等に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計上の見積りの変更) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限や海外からの入国制限が緩和されたことにより人流が増加し、経済・社会活動の正常化が進んだことで、個人消費には緩やかな回復が見られました。一方、国際情勢の不安定化、資源・エネルギー価格の高騰、国際的なインフレ、円安の進行等により経済の先行きは不透明な状況が続いております。

当社の属する衣料品販売業界においても、資源価格の上昇や為替変動による物価上昇などにより、依然として先行き不透明な状況が続いているものの、ファッションに関連する消費意欲は緩やかな回復傾向が見受けられております。このような環境の中、当社は、今後の売上成長と利益確保に向け、オンライン事業を主とした販売強化に加え、実店舗の展開を拡大しております。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高3,111,380千円、営業利益302,541千円、経常利益290,759千円、四半期純利益165,384千円となりました。

なお、当社はアパレル事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,370,714千円となり、前事業年度末に比べ479,543千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が217,178千円増加したこと及び商品が182,414千円増加したことによるものであります。固定資産は498,005千円となり、前事業年度末に比べ47,570千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が77,170千円増加したこと、のれんが52,826千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,868,719千円となり、前事業年度末に比べ527,114千円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は979,875千円となり、前事業年度末に比べ64,597千円増加いたしました。これは主に買掛金が159,424千円増加したこと、未払法人税等が110,450千円増加したこと、短期借入金が200,000千円減少したことによるものであります。固定負債は277,373千円となり、前事業年度末に比べ81,571千円増加いたしました。これは主に長期借入金が70,291千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,257,248千円となり、前事業年度末に比べ146,168千円増加いたしました。

## (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は611,470千円となり、前事業年度末に比べ380,946千円増加いたしました。これは主に東京証券取引所グロース市場への上場に伴う新株発行による資本金98,532千円の増加及び資本剰余金98,532千円の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は31.7%（前事業年度末は17.2%）となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2023年12月27日に公表した2024年3月期連結業績予想を下記の通り修正します。また、今回の業績予想の修正より、調整後EBITDAについても開示することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

	売上高	調整後 EBITDA	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(円銭)
前回発表予想 (A)	3,565	—	337	312	215	143.15
今回修正予想 (B)	4,102	498	374	360	215	143.15
増減額 (B - A)	537	—	37	48	0	—
増減率 (%)	15.1	—	11.0	15.4	0.0	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	2,470	—	△47	△54	△68	△46.23

(注) 調整後EBITDA = (営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 + 敷金償却費 + 株式報酬費用)

修正の理由

売上高、営業利益及び経常利益につきましては、実店舗での販売を中心に、第3四半期累計期間が好調に推移したことを踏まえて通期の予想を見直した結果、前回予想を上回る見通しとなりました。

一方で、当期純利益につきましては、経常利益の増益要因に加え、店舗移転に係る除却損ならびにのれん償却費および株式報酬費用に係る税金費用の見積りが予算策定時に十分に考慮されていなかったため、結果として前回予想から修正はありません。

詳細につきましては、2024年2月13日に開示いたしました「2024年3月期 第3四半期 決算説明資料」をご参照ください。

※業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	244,688	461,866
売掛金	118,291	192,599
商品	421,309	603,723
前払費用	29,333	31,711
その他	77,547	80,813
流動資産合計	891,170	1,370,714
固定資産		
有形固定資産	46,962	124,133
無形固定資産		
のれん	316,959	264,133
その他	5,764	4,754
無形固定資産合計	322,724	268,887
投資その他の資産		
繰延税金資産	50,339	36,317
その他	30,407	68,667
投資その他の資産合計	80,747	104,984
固定資産合計	450,434	498,005
資産合計	1,341,605	1,868,719

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	145,792	305,217
短期借入金	400,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	63,276	100,410
未払法人税等	258	110,708
賞与引当金	10,000	8,052
未払金	270,793	163,178
その他	25,158	92,309
流動負債合計	915,278	979,875
固定負債		
長期借入金	195,802	266,093
資産除去債務	—	11,280
固定負債合計	195,802	277,373
負債合計	1,111,080	1,257,248
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	198,532
資本剰余金	103,684	202,216
利益剰余金	26,840	192,225
株主資本合計	230,524	592,973
新株予約権	—	18,497
純資産合計	230,524	611,470
負債純資産合計	1,341,605	1,868,719

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	3,111,380
売上原価	1,224,964
売上総利益	1,886,416
販売費及び一般管理費	1,583,874
営業利益	302,541
営業外収益	
受取利息	1
受取手数料	942
その他	1,289
営業外収益合計	2,233
営業外費用	
支払利息	7,537
支払手数料	2,760
その他	3,718
営業外費用合計	14,016
経常利益	290,759
特別損失	
固定資産除却損	6,196
特別損失合計	6,196
税引前四半期純利益	284,563
法人税、住民税及び事業税	105,155
法人税等調整額	14,022
法人税等合計	119,178
四半期純利益	165,384

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

当社は、2023年12月27日付で東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場にあたり、2023年12月26日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式85,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ98,532千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が198,532千円、資本剰余金が202,216千円となっております。

(会計上の見積りの変更)

(商品在庫評価減見積りの変更)

当社は、商品在庫の評価基準について、仕入時点から一定の期間が経過した商品もしくは撤退ブランドの商品について帳簿価額を切り下げた価額をもって、貸借対照表価額としておりました。

この度、実店舗での販売体制が一定程度構築されたことから、当社の商品在庫の保有期間も変化しています。また、商品ライフサイクルを評価するためのデータが蓄積されたことで当該ライフサイクルの実態をより詳細に把握することが可能になりました。そのため、商品在庫に係る収益性の低下の事実をより適切に財政状態及び経営成績に反映させるため、第1四半期会計期間において、商品の帳簿価額切下げに係る評価減率について変更することとしました。

この結果、従来の方と比べて、当第3四半期累計期間の売上総利益、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益は22,124千円増加しております。